



広報かねやま

No.650

KANEYAMA



2017

2

天に突きあげ
餅をつきあげ





新庄南高金山校生徒会が『愛の鳩賞』 金山町にとっても初受賞

右：元生徒会の3年生。
(右から) 柴田葉々子さん、
堀実玖さん、福田奈央さん、
後藤美優さんの4名が贈呈
式に出席しました。

下(3枚)：ボランティアの
様子。多方面にわたる活動
を行っています。



生徒一人一人が活躍できる生徒会活動を

新庄南高金山校生徒会が、
平成28年度の『愛の鳩賞』を
受賞し、贈呈式に元生徒会役
員の3年生が出席しました。

『愛の鳩賞』は、(公財)山形
放送愛の事業団と山形新聞・
山形放送が主催し、地域福祉
に尽くす個人や団体を表彰す
るものです。37年の歴史があ
る本賞ですが、金山町にとつ
ては、今回が初めての受賞。
生徒会の皆さんの多方面にわ
たる地域貢献活動が大きく評
価された結果となりました。

生徒会の皆さんが広く知ら
れるきっかけとなった一つが、
通称『たこムス』の活動です。
たこ焼き作りが趣味という先
生がたまたま金山校に勤務し
ていたため、数年前から自然
と始まった、たこ焼きのふる
まい。かねやま青空市でのボ
ランティアとあわせて、いま
や彼女たちの代名詞となっ
ています。

また、生徒全員が活躍でき
る学校を目指し、行動してい
るのが金山校の強み。月1回

の生徒会集会ではより多くの
生徒が発言できるよう機会を
設けています。全校を挙げた町
内ごみ拾いや高齢者世帯の除
雪作業も恒例行事となりまし
た。

現在は生徒会役員が代替わ
りし、2年生を中心に運営中。
金山校生徒会活動に大きな足
跡を残した3年生もこの春、
卒業を迎えます。「先輩方の
努力の積み重ねがあつてこそ
受賞できた。タイミングがた
またまた私たちの代だったとい
うだけ。多くの活動を通して、
後輩たちに気持ちは伝わって
いると思う」と前生徒会長の
堀実玖さんは話します。

「生徒たちが町民の皆さん
に愛される存在となり誇らし
い」と話すのは金山校の黒坂
先生。生徒会だけでなく、生
徒一人一人が旧金山高校時代
から続く『金山校プライド』
を持ち、今後さらなる飛躍と
ともに、歴史を紡いでいって
くれることを願います。若い
力は町の宝です。

も く じ Contents

- P3 ◆かねやま わんとび
新庄南高金山校生徒会が『愛の鳩賞』
- P4 ◆特集：かねやまの産直
一産地消・6次産業化の原点をさぐる一
- P10 ◆町職員給与のあらまし
- P12 ◆まちのわだい
各種イベントで盛り上がり 神室雪まつり
より佳き1年となることを願い 新年祝賀会
なしだんご作り 有屋小児童が奮闘
町消防団年頭集会 無火災を呼びかける
山の神の勧進♪ 三枝地区大又で伝統行事
七日町の若者有志 『裸みこし』の雄姿
めぐたま冬期交通安全教室 除雪車に触れる
運動研修会 頭と体のエクササイズ
- P14 ◆図書コーナー・ぶんげい
- P15 ◆ほっとクリニック vol.98
インフルエンザから身を守ろう！
- P16 ◆地域おこし協力隊が行く2017
- P17 ◆介護予防・日常生活生活支援総合事業を始めますⅡ
- P18 ◆お知らせ掲示板
- P20 ◆金山小歌会始
言葉みがきは心みがき、心みがきは人間みがき

◎今月の表紙◎



1月8日、七日町地区お歳灯での若者による餅つき的一幕です。本号12ページで紹介していますが、この日はお歳灯に併せて『裸みこし』を披露。10名の若者たちが裸で七日町通りを駆け巡り、「わっしょい」という威勢の良い掛け声が響き渡りました。勢いそのままに、棒状の杵を使い一気に餅をつきあげ。天に向け餅を突きあげる動作は、豊稔の象徴である餅をお天道様に捧げ、今年1年の幸せを願うものと言われています。

2月行事予定表

1 (水)	すこやか相談
2 (木)	全国中学校スキー大会(5日まで、会場：真室川町・最上町)
3 (金)	
4 (土)	
5 (日)	
6 (月)	心配ごと相談 運動研修会
7 (火)	乳児健診 ブックスタート
8 (水)	
9 (木)	親子ふれあい ベビーわらべうた
10 (金)	しゃんしゃん体操
11 (土)	神室スキー場バレンタインウィーク(17日まで)
12 (日)	ソフトバレーフェスタ
13 (月)	
14 (火)	町内小学校一日入学
15 (水)	心配ごと相談 すこやか相談
16 (木)	ママのためのボディケア講座 ホットさろん(高齢者・介護者の相談会)
17 (金)	大好き歯磨き
18 (土)	
19 (日)	
20 (月)	運動研修会
21 (火)	1歳2歳児歯科検診 森の子ども図書読み聞かせ
22 (水)	
23 (木)	親子ふれあいベビーマッサージ講座
24 (金)	
25 (土)	
26 (日)	第60回白銀少年スキー選手権大会
27 (月)	心配ごと相談 心の健康相談
28 (火)	親子ふれあい わらべうた&読み聞かせ講座

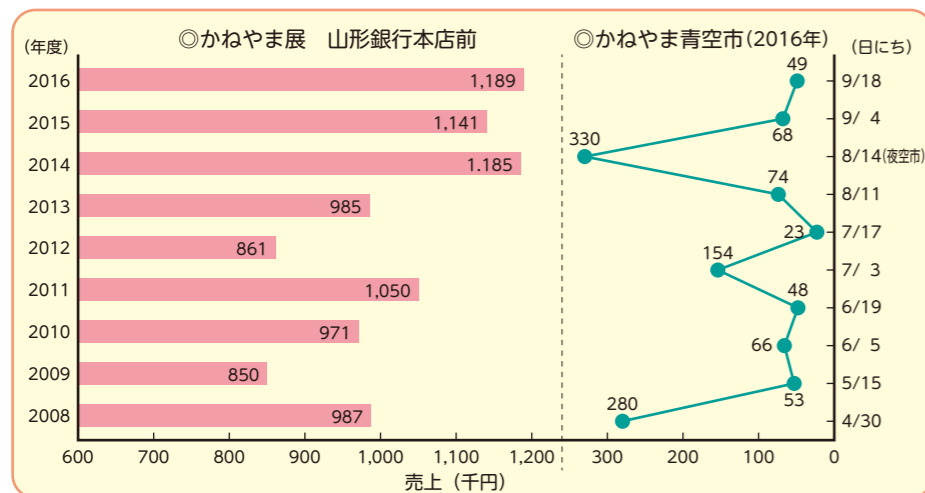


かねやまの産直

—— 地産地消 6次産業化の 原点を さぐる ——

交流と連携の成果として――

通常は個々に活動している町内の産直団体の相互の連携が円滑にできるよう、2012年2月に『かねやま産直ねっと』は設立されました。昨年度から月2回の定期開催となったかねやま青空市。金山まつり初日にあわせて開催を始めた夜空市。今年度2年ぶりの開催が大好評だった春のかねやま展に加え、秋のかねやま展も毎年安定した売上を確保し、2017年度で10周年の節目を迎えます。試行錯誤をしながら進化を続けるかねやま産直ねっとは、今後も町内外での活動を展開していきます。



産直の良さってなんだろう――

地元産品が気軽に手に入る、生産者の顔が見えて安心、商品が採れたてで新鮮……など産直ならではの良さはたくさんあります。これらはすべて消費者目線。生産者の立場に立つてみても、消費者の反応を直接知ることができる、流通コストがかからずその場で現金収入が得られるなど、生産意欲が高まるメリットが多くあります。

つか存在します。現在では金山だけだけでなく、全国各地に直売所ができ、産直は農産物販売の形態としては一般的になりつつあります。

そういった産直活動が金山で始まったのは、今から40年ほど前のこと。「農家は農産物を生産するだけ」という考えが当たり前だった当時は、生産者が売り場に立ち、自らが生産した農産物を販売するという形態はとても珍しいことでした。

さらに近年では、産直は買い物をするためだけの場にとどまらず、住民が集まり自由に交流することのできる、いわば『産直型サロン』の役割を果たしています。高齢化率が30%を超え、今後も高齢化の進行が予想される金山において、産直は地域にとっても今以上に重要な存在になっていくと考えられます。

前述のとおり消費者と生産者の双方にはもちろん、地域にとってもメリットの多い産直。実はその産直活動、山形県内でも金山が先駆けということを知っていますか？

現在、町内には店舗型の産直が2つあります。また、かねやま青空市や各団体が独自で開催している産直など、野外等で定期的に開催している産直もいくつかあります。

産直活動はどういった経緯で誕生したのか、また現在の成熟した市場で、今後金山の産直はどうあるべきか。本号では、地産地消や6次産業化の原点と言っても過言ではない『かねやまの産直』について探ります。





「農と観光のつなぎ役になりたい」そんな想いから、平成27年11月に山崎地区でオープンしました。金山のものはもちろん、最上8市町村の特産品や肉・魚類の販売を行っています。青果品については、主に地元生産者からの提供。野菜がきた時は青果卸にお願いしています。また、秋には秋田県産のりんごを取り揃えるなど、季節感のある産直づくりを心がけています。

利なようで、今後は観光マップを含めた改良を検討中です。おかげさまでこの店を始めて1年が経ちました。今思うことは「ここでしか手に入らないという付加価値」が必要だということです。工芸品など、今まで販売したことのない物を作っている人にも声をかけています。今後は店独自の商品も作っていったらと思っています。

ここでしか手に入らないという付加価値を



ちょうほう屋

代表 樋渡洋子



ここから情報を発信できる店づくりを



ふれあい産直金山

代表 須賀 安政



ちょうほう屋は平成17年に役場向かいに設立、おかげさまで一昨年には10周年を迎えました。店名は「重宝」と「町報」から名付け、ものも情報も何でもそろった店づくりを目標としています。現在組合員は13名。年間を通して、組合員が生産した野菜や山菜、それから組合員が製造したおこわやあられ、漬け物などの加工品を取り揃えています。生鮮品が少なくなる冬期間も、なるべく品物をきらさないように、組合員である町の魚屋さんを中心に仕入品で対応するようにしています。あくまで地元の産直として安心・安全なものを提供するため、生モノの取り

扱いはしていません。ただ「ちよと足りない」に配慮されるように、調味料などは常に置き、ちょうほう屋の名に恥じないよう商品準備しています。また、ちょうほう屋は自ら情報を発信できる店づくりを目指しています。買い物だけでなく、いつでも気軽に来店していただきお茶を飲みながらお話をしてもらえればと思っています。物も人も情報も集まる！そんな場所が理想ですね。これからも『安心・安全な金山産品の提供』を心がけて、頑張っていけます。「一見さんはいりにくい」という噂も聞きますが、そんなことは全くありません！ぜひお気軽にお立ち寄りください。



かねやまの産直

—— これまで to これから



神室筑市さる 三上 敦子

ホテルシーネスハイム金山の開業と同時に日曜日の朝市として「神室筑市」は誕生しました。その名のとおり、当時は対面販売する際に大きな『ざる』に商品を並べていました。春は山菜、秋はきのこや新鮮な野菜。そして、それらを加工してできた漬け物、くじらもち、おこわ、おにぎりや惣菜など数多くの商品を筑市の会員8名で販売していました。自分たちで生産した野菜や地場の山菜を使って加工品を作るといふこだわりは筑市を始めた頃から今も変わりません。

活動を始めて少し経った頃に、より新鮮なものを提供しようと、ホテルの近くに3つの加工場を整備しました。徐々にホテルだけではなく、町内外のイベントに加え、東京まで販売場所は拡大し、仲間とともに元気に楽しく活動してきました。

今年で19年目を迎える神室筑市ですが、高齢化による脱退など様々な事情があり、現在の会員数は5名。売上は以前と比べ少なくはなっていますが、まずは20年目の節目に向かい、販売方法や加工品を工夫し、頑張っていきたいと思っています。応援よろしくお願いします。



山崎のかあちゃん 八鍬 稲子

平成17年に友人とともに2人で立ち上げたのが「金曜市」です。JA金山ストア前で週に一度、金曜の9時頃から昼過ぎまで営業しています。おかげさまで、昨年には10周年を迎えました。近隣の方々や常連のお客様をはじめ、多くの方に足を運んでいただき、応援してもらっています。

地元金山には店舗が少なく、多くの品々を調達できないのが現状だと思います。そこで畑仕事の好きな私たちが、鮮度抜群の野菜を提供したいと思ったのが、金曜市を始めたきっかけです。

金曜市のほかに、かねやま青空市や町外の産直イベントにも可能な限り出店して、活動を広げてきました。

産直活動の基本はやっぱり地産地消。地元を大事にしていきたいという気持ちは立ち上げ当初から変わりません。自慢の加工品はいわゆるスローフードで、健康にとっても良いもの。こういった考えも大切に継承していきたいと思っています。今後も金曜市を軸にしながら、注文販売やバザーなど、新たなことにも挑戦しよう考える70代の私たちです。



百姓屋 鈴木 隆生

産直を始めて40年以上が経過します。昔の記憶をたどると、「自家用野菜の種子代くらいは売上でまかないたくない」と考えたのがきっかけだったように思い出します。

様々な産直活動を行ってきましたが、今はヤマザワ新庄店のフリースペースを間借りして、毎月・水曜日に対面販売を実施しています。私のモットーは自家栽培品を使うこと。基本的には自分で栽培した野菜、金山町内でとった山菜にこだわって加工品を製造しています。さらに言えば、農業は出来るだけ少なく有機質を多く使った野菜、添加物は使用しない加工品を提供しています。自分も食べるので安全面は気を使っています。

産直の良さは、市場出荷と違い、あまり規格にしばられなくとも良い点。多くの周りの人々に助けられながら、長い間活動ができたと思っています。

正直、この年になると、目標もビジョンもありません(笑)。でもここまできたら、体が動くうちに来ていただける常連さんのためにも、現状は保っていきたいと思っています。継続は力なりかな？



いまこそ金山の フロンティアスピリットをー

『かねやま産直ねっと』は、今まで金山の産直をリードしてきた先人たちに加え、今後産直のみならず、金山の農業を引っ張っていくであろうメンバーで構成されています。

金山が産直の「はしり」だったというのは前述のとおり。しかし近年では、産直チームの煽りを受けてか金山の産直は以前ほどの勢いはなくなっているのが正直なところ。かねやま産直ねっとは、皆で手を取り合い、情報を共有しながらそんな状況を打破していくと立ち上がったのです。会員同士が協力するのはあくまで個々の売上を伸ばすため。互いの得意分野を活かし、すみ分けを行うことで、団体全体での年間売上1億円を目指しています。

金山で産直活動が産声を上げた約40年前、「みんなで考え、行動する」という気持ちが高まっていたと聞きます。自分が得た経験を皆で共有し、決して自分だけが得意などという一人よがりの発想を持たない、この姿勢が成長の力ぎとなったのでしよう。

時は流れ、産直や農業を取り巻く環境は大きく変わりました。産直と同様に当時は珍しかったものでも、今では当たり前になっていることはたくさんあるはずです。非常識と見えることの中に、新たな発想が埋もれていることは間々あるのだと思います。

「柔軟な発想で、行動と学習を繰り返す」といった当時の金山式行動スタイルが、今こそ必要なものかもしれません。

株式会社エヌシップ 長倉 直人

当社の売上のうち、産直や6次産業化の割合は1割〜2割程度。6次産業化については、口入を少なくするため野菜のジェラートを販売しています。また、産直活動については、消費者と対面しての取り組みなので、商品を理解してもらえる効果があります。

その点で特に力を入れているのが、「かまくらやさい」。昨年11月には商標登録も完了しました。県内でも積雪量の多い金山だからできるかまくらやさい。労働コストが普通より大きく、栽培しづらい品種ですが、雪の下に貯蔵することで、驚くほど甘みが増します。娘がおやつ替わりにむしゃむしゃ食べるほどです(笑)。

この明らかな味の違いと「雪」というストーリーで付加価値をつけて、今は産直を中心に販売をしています。まずは直接消費者にかまくらやさいの良さをアピールしながら、シンガポールや台湾、香港へサンプルの輸出も行い、世界でも納得してもらえる味かどうかを試しています。

今後も、商品の周知や食育活動の一環として産直や6次産業化に取り組んでいきたいと考えています。

夢市グループ 柿崎 喜一

昭和54年、私がまだ農協青年部に所属していた頃、夕方一時間程度、自家用野菜の販売を始めました。今思えばここまで続くとは思いませんでしたが、これが夢市グループのルーツです。当時、減反政策で水田を畑に変え、野菜作りをしていた仲間たちで、余った野菜を少しでも現金に換えようと思い立ち、産直活動の原点は始まったのだと思います。

そこから3年ほど経ち、正式に夢市グループは発足しました。ちなみに夢市は(ゆういち)と読みます。自分たちの初心である夕市を忘れないためです。それから数年はとても苦労しました。なにせそれまで産直などなかったため、みんな手探り。生鮮品だけで商品の幅もなく、1日数千円しか売れない時代が続きました。

転機は偶然訪れました。当時JA金山にはじき物のきゅうりが大量に余っており、どうやって処理したらよいか相談されました。じゃあこれを漬け物にして売ってみてはどうかと売れました。今となつては産直の大きな柱である加工品はこうやって生まれました。

◆職員の経験年数別・学歴別平均給料の月額(平成28年4月1日現在)

区 分	経験10年	経験20年	経験25年	経験30年
一般 大学卒	243,700円	350,400円	377,200円	387,000円
行政職 高校卒	211,100円	297,400円	328,100円	374,200円

※経験年数とは、卒業後直ちに採用され引き続き勤務している場合の採用後の年数をいいます。

◆期末・勤勉手当の状況(平成28年12月1日現在)

区 分	6月期	12月期	計	備 考
期末手当	1.225月分	1.375月分	2.6月分	国の制度に同じ
勤勉手当	0.80月分	0.90月分	1.7月分	国の制度に同じ

※職制上の段階（職務の級）により0%、5%、10%、15%の加算措置があります。

◆時間外勤務手当の状況(全会計)

区 分	支給総額	職員1人当たり支給年額
平成27年度	13,618,126円	158,352円
平成26年度	13,503,648円	160,752円

◆退職手当の状況(平成28年4月1日現在)

退職手当		
(支給率)	自己都合	勤奨・定年
勤続20年	20.445月分	25.55625月分
勤続25年	29.145月分	34.5825 月分
勤続35年	41.325月分	49.59 月分
最高限度額	49.59 月分	49.59 月分
その他の加算措置	定年前早期退職特例措置 (2～20%加算)	

◆特別職の報酬等の状況(平成28年12月1日現在)

区 分	給料・報酬の月額	期 末 手 当
給料	町 長 738,000円(10%)	6月期 1.475月分
	副町長 577,000円(7%)	
	教育長 547,000円(5%)	
報酬	議 長 310,000円	12月期 1.675月分
	副議長 250,000円	
	議 員 230,000円	
		計 3.15月分

※平成28年度は（ ）内の割合が減額されており、上記金額は減額後の額です。

◆扶養手当、住居手当、通勤手当の状況(平成28年4月1日現在)

	金 山 町	国の制度
扶養手当	◆配偶者 13,000円 ◆一般の扶養親族 1人につき6,500円 (配偶者がいない場合1人のみ11,000円、扶養親族のうち満16歳の年度初めから満22歳の年度末までの子1人につき5,000円加算)	左に同じ
住居手当	借家 限度額 27,000円	左に同じ
通勤手当	交通機関利用 限度額 55,000円	交通機関利用 左に同じ
	交通用具使用 限度額 44,900円	交通用具使用 限度額24,500円

人事行政の運営等の状況(平成27年度)

【職員の勤務条件】

勤務を要する日…月曜日から金曜日まで（国民の休日及び12月29日から1月3日までを除く）

勤 務 時 間…8時30分～17時15分（休憩時間12時～13時）

【休暇制度】

年次有給休暇…1年に20日（20日を上限に翌年へ繰越し可）

平成27年平均取得日数 7.6日

その他、特別休暇（産休、忌引等）、病気休暇等があります。

【職員の分限及び懲戒処分の状況】

分 限 処 分…休職0件（分限処分とは、職員が一定の理由によってその職責を十分に果たすことができないと認められる場合に、公務能率の観点から行われる職員の意に反する身分上の処分をいいます。）

懲 戒 処 分…減給1件

【研修の状況】

全国地域リーダー養成塾や山形県市町村職員研修所で実施される各種研修への参加に加え、町独自で職員と住民が一体となって企画・実施しているドイツにおける景観研修などを行い、専門的知識の習得など人材育成を図っています。

【職員の福祉及び利益の保護の状況】

・定期健康診断の実施

・地方公務員災害補償基金へ加入

平成27年度 公務災害…5件、通勤災害…0件

※「人事行政の運営等の状況」の詳細は町のホームページに掲載しております。

町職員給与等のあらまし

金山町職員の給与と人事行政の運営等の概要についてお知らせいたします。

職員の給与は、国家公務員の人事院勧告及び他の自治体との均衡を考慮し、町議会の審議を経て町条例で定められています。

職員数の状況

◆部門別職員数の状況と主な増減理由 ※各年4月1日現在

部門		職 員 数		対前年増減数	主な増減理由
		平成27年	平成28年		
一般行政部門	議 会	1人	1人	1人	政策財政監の配置による増
	総務企画	17	18		
	税 務	4	4	△1	交付金事業減少による減
	労 働				
	農 水	10	9		
	商 工	2	2		
	土 木	5	5		
	民 生	7	7		
	衛 生	7	7		
	小 計	53	53		
特別行政部門	教 育	13	13		
公営企業等会計部門	診療所	22	22		
	水 道	2	2		
	交 通				
	下水道	1	1		
	その他	6	6		
小 計		31	31		
合 計		97 [105]	97 [105]		

(注) 職員数は一般職に属する職員数です。
(臨時又は非常勤職員並びに教育長を除いています。)
なお、類似団体(人口規模が似ている自治体)との比較では、H27一般行政部門で△9人と、当町の職員が少ない状況にあります。
〔 〕内は職員定数条例上の人数です。

給与のあらまし

◆人件費の決算額の状況(平成27年度 普通会計決算)

歳出総額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	前年度の 人件費率
千円	千円	千円	%	%
4,682,038	275,201	577,946	12.3	14.3

※普通会計とは一般会計等で、水道、下水道、診療所、国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療の各会計を含みません。

◆職員の初任給の状況(平成28年4月1日現在)

区 分	金 山 町		山 形 県	
	初 任 給		初 任 給	
一般行政職	大学卒	166,100円	180,700円	
	高校卒	144,600円	147,900円	
技能労務職	高校卒	143,500円	143,300円	
	中学卒	139,000円	130,200円	

◆職員給与費の状況(平成28年度 普通会計当初予算)

職員数 A	給 与 費				職員一人当たり 給与費B/A
	給料	職員手当	期末・勤勉手当	計B	
人 67	千円 241,862	千円 38,923	千円 92,036	千円 372,821	千円 5,564

※職員手当には、退職手当組合への負担金分は含みません。
※給与費は、当初予算に計上された額です。

◆平均給料・平均給与の月額及び平均年齢(平成28年4月1日現在)

区 分	項 目	金 山 町	山 形 県
一般行政職	平均給料月額	303,600円	345,300円
	平均給与月額	338,259円	427,900円
	平均年齢	40歳3月	44歳3月

※給与月額とは、給料月額に職員手当の月額を加えたものです。



恒例となっている雪中花火

各種イベントで盛り上がり 神室雪まつり

1月15日、グリーンバレー神室で神室雪まつりが開催され、親子連れなど多くの来場者で賑わいました。

雪が深々と降り続く中、花笠音頭やよさこい踊り、バンド演奏など、悪天候を吹き飛ばすパワフルなステージイベントが繰り広げられました。日が落ちると、毎年恒例の雪中花火打ち上げ。カラフルな花火が白銀のキャンパスに写しだされると、会場からは大きな歓声が。町外から来たという方は「冬の花火は夏と違った良さがある。来年も楽しみ」と話していました。この日の最後も恒例行事、金山スキークラブによる松明滑走からお歳灯へ点火。来場者は温まりながら今年の健康を祈願しました。

なしだんご作り 有屋小児童が奮闘

1月12日、有屋小学校の1・2年生14名が、地域の皆さんと一緒に『なしだんご作り』に挑戦しました。

なしだんごは小正月の伝統行事で、今年1年の幸せを願うもの。「飾りつけにはミズキという木を使う。飾りにもそれぞれ意味がある」と下向地区の矢口区長から説明があり、児童たちは真剣に話を聞いていました。

初めて作ったという柴田夢瑠ちゃん(2年)は「おばあちゃん達に手伝ってもらったので上手にできた。完成したなしだんごはとてもきれい」と満足げに話していました。

このなしだんごは、有屋小学校の玄関ホールに2月中旬頃まで飾られる予定です。



願いを込めながらミズキに餅をさす児童たち



玄関先で「山の神の勧進〜♪」と唱える男子たち

山の神の勧進♪ 三枝地区大又で伝統行事

12月8日、三枝地区大又に古くから伝わる行事『山の神勧進』が行われました。町内の他地区では、多くは4月に行われている伝統行事です。

この日は中学2年生までの地区内の男子7名が参加。家々の玄関先で、運び入れたご神体を前に、独特のフレーズを唱えながら五穀豊穡や家内安全を祈願しました。元気なあいさつを響かせながら、約2時間かけて地区内の約40軒を周回しました。最年長で大将の高橋大樹くんは、「地区のお年寄りを元気にすることができたと思う。人数は少ないけど、ずっと続いてほしい行事」と話してくれました。



除雪車の操作を体験するめごとま園児たち

めごとま冬期交通安全教室 除雪車に触れる

12月21日、認定こども園めごとまの年長園児を対象とした冬期交通安全教室が、金山防災除雪ステーション(日当)で開催されました。

子ども達に普段はあまり感じない除雪車の危険性を知ってもらい、冬期の交通災害撲滅を目的として、町内の国道除雪を請け負う白岩土木建築㈱が毎年企画しているもの。はじめに新庄警察署員から「除雪車はとても便利だけど危険」との説明があった後、実際にロータリーやグレーダーなどの除雪車の運転席に座り、死角の確認をしていました。また操作の仕方を体験することで、それぞれの除雪車の役割を学びました。

まちのわだい

より佳き1年となることを願い 新年祝賀会

1月4日、もがみ北部商工会金山支部(星川広喜支部長)主催の新年祝賀会が開催され、町商工関係者などおよそ100名が出席し、平成29年の門出を祝いました。

星川支部長はあいさつで「今年は酉年。商売を営む者にとって、運氣やお客さんを取り込める縁起の良い年だ」と干支に触れながら、皆さんの幸せを願っていました。



来賓の皆さんによる鏡開き

町消防団年頭集会 無火災を呼びかける

1月8日、町消防団幹部及び消防関係機関を招集した年頭集会が開催されました。

柿崎久芳団長からは「普段から出来る限りの準備を尽くし、災害時の被害をより少なくすることが重要。そのためには平素から予防活動や各種訓練に努める必要がある」との訓示。出席した100名を超す関係者の皆さんは、今年1年の防火・防災に向け、気を引き締めていました。集会終了後には、防火パレードを行い火災予防の徹底を呼びかけました。災害は突然やってくるもの。無火災を祈りながらも、有事の際は町消防団の皆さんの活躍を期待します。



訓示を述べられる柿崎久芳団長

七日町の若者有志 『裸みこし』の雄姿

1月8日、七日町地区地蔵さま前広場において、お歳灯が開催されました。併せて、毎年恒例となっている『裸みこし』が、七日町通りを駆け巡りました。

代表してみこしの上に乗る、威勢の良い掛け声で集団を先導した樋渡新さんは「寒さは気にならなかった。伝統ある裸みこしに乗ることができて光栄だ」と興奮気味に話していました。みこしを担いだのは、町内会の若者有志10名。誇らしげな表情を浮かべた皆さんの寒さを吹き飛ばすような勇壮な姿が印象的でした。会場では縁起物の初あめが販売されたほか、つきたての餅や納豆汁がふるまわれ、多くの見物客を楽しませました。



お歳灯会場から七日町通りへと繰り出す裸みこし

運動研修会 頭と体のエクササイズ

1月16日、町改善センターを会場に運動研修会が開催され、高齢者の方々を中心に約20名が参加しました。

運動は体全体を使ったストレッチから、指示に従って指先を動かす頭の体操まで多種多様。工夫を凝らした運動に会場には笑いが絶えませんでした。「こういった運動を続けて5年になるが、腰やひざがとても良くなった。仲間との情報共有の場にもなる」と阿部一枝さん(片貝)は運動研修会の良さを語ります。

今年度は、2月6日・20日、3月6日にも開催を予定しています。日頃の運動不足に効果抜群です。ぜひご参加ください。



頭と体を同時につかう運動に悪戦苦闘する参加者

ほっとクリニック

町立金山診療所だより 98

金山町大字金山548-2 ☎52-2915



2017年に入って寒さが厳しくなったこともあり、風邪やインフルエンザで診療所を受診してくる患者さんが増えております。もう一度インフルエンザから身を守るための方法を確認したいと思っております。

インフルエンザは周囲の人につりやすい病気として知られており、学校や病院、高齢者の施設で流行することがあるために、予防対策も重要な病気です。インフルエンザから身を守るためには、インフルエンザがどこから私たちの体に侵入してくるかを知ることが大事です。

感染の仕方には飛沫（ひまつ）感染と接触感染の2つの道筋があります。飛沫感染とは、感染した人がせきをするときに、こまかく飛び散る水に含まれるインフルエンザウイルスを、別の人が口や鼻

から吸い込んでしまい感染することです。

接触感染とは、インフルエンザに感染した人が、咳を手で押さえた後や鼻水をぬぐった後などに、ドアノブやスイッチなどに触れると、その触れた場所にウイルスが付着することがあり、その場所を別の人が触れて、その手で鼻や口を触り体内に感染することです。

◆◆◆◆◆

インフルエンザから身を守るには、ウイルスを体に侵入させないことが大事になります。

すでに、インフルエンザにかかっている方は家族や周囲の方につさないために、マスクをつけることを推奨します。マスクは身近な存在になりましたが、不衛生な使い方をしている場合もあります。使う時にはパッケージの説明をよく読みましょう。2日以上同

じマスクを使用する、マスクをポケットにしまい込む、マスクを捨てるときにゴム紐以外の場所に触れてしまう、という間違いに注意してください。マスクの四角い面には、ウイルスがたくさん付着している可能性があります。捨てるときにはゴム紐の部分以外には触れないようにしましょう。

また、インフルエンザに感染している人も、していない人もすべての方に推奨するのが、手洗い・手指衛生です。気づかないうちに手に付着したウイルスを減らすために、石鹸での手洗いやアルコールを含む消毒液で手を消毒すると効果的です。

まだ、寒さの厳しい冬が続きますが、インフルエンザなどで体調を崩されないよう、日常生活でできる予防対策に取り組んでいただければ幸いです。



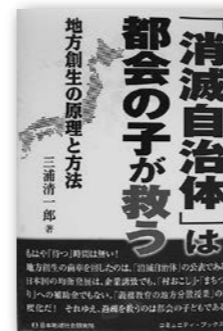
ドクターメッセージ

町立金山診療所

副所長 鈴木 有大

インフルエンザから身を守ろう！

中央公民館図書 9:00~16:00



「消滅自治体」は都会の子が救う
三浦清一郎／日本地域社会研究所

平成28年度公民館大会講師の作品！地方創生の歯車を回したのは「消滅自治体」の公表。日本の均衡発展は、企業誘致でもなく村おこし・町おこしの補助金でもない。「義務教育の地方分散授業」の制度化だ！それゆえ、過疎を救うのは都会の子どもである。



大雪物語
藤田宜永／講談社

著者自らの罹災体験をもとに、家族・男女を描く珠玉の六編。想定外の雪が生んだ奇跡の出会い。記録的な積雪に見舞われたK町で起きたこと。得難いあの体験が、これらの物語を紡がせてくれたと作者は言っています。大雪に関する短編小説を是非手にしてください。

新刊図書 2月

神仙の告白／仁木英之
九十歳。何がめでたい／佐藤愛子
慈雨／柚月裕子
おまつり万歳！／たかぎなおこ
挫折を経て、猫は丸くなった／天久聖一
成功している人は、なぜ神社にいくのか？／八木龍平
蜜蜂と遠雷／恩田陸
羊毛フェルトで作るブザかわアニマル／ピー太郎左右衛門
重ねるだけでおいしい スコップケーキ／西山朗子
マグカップケーキ／本間節子
みかづき／森絵都

森の子ども図書 134 交流サロンぽすと内 12:30~17:00



『ないしょでんしゃ』
(薫くみこ／作 かとうようこ／絵 ひさかたチャイルド)

森の鉄道は、お山に雪が降るとお休みになります。「もりのひろば駅」には看板がかけられ、たくさんの動物さんが電車と駅の大そうじをしました。駅長さんがホッと一息ついて居眠りしている間に、赤い電車はゆっくり雪山の方へ登っていきます。駅長さんの知らない駅に停まり、お客さんはたくさんの雪だるまさんが！ナイショ ナイショ という音を鳴らしながら電車はどこまで行くのでしょうか？この絵本にはたくさんの仕掛けがあります。そして、おさるさんの服や雪だるまのボタンの色を見ると、あれ～なんか不思議だね。

ぶんばい

金山杉俳句会報 第四〇〇回

寒玉子つるりと飲んでまだまだと セイ子
古里の便り届けり今年米 サダエ
えり巻に首すっぽりと今日百歩 敏子
くれないの短冊選ぶ筆はじめ 恵美子
悔少し残る日捲り十二月 よし子
二次会はホットコーヒー年の暮 順子

かねやま紅風会

彼方より喪中欠礼年の暮 荒屋 阿部 勝子
約束の電話を待てり冬の月
年の花燭々と眺める老ふたり 荒屋 関 喜美子
悔ひ多き古希の道なり年の夜 菅 越 庄司けみ子
間食の菓子に追はれり冬休み
反省の残る余白や日記果つ 七日町 青柳キエ子
検査機の器具冷たかり師走とて
一ト刻の写経へ感謝冬銀河

年の花活けて安堵の茶の香り 七日町 柴田 栖静
復興の進む駅舎の松飾り 羽場 坂本徳太郎
白極む芒ばかりの遊歩道
宅配便行き交ふ街の師走かな 上 台 阿部 一
八十の腰をなだめて雪を掻く
松過ぎて留守居の老の気儘かな 七日町 村松 奈風
連句『歳旦三ツ物』独吟
米寿てふ閑をいたゞく今朝の春
恵方の龍馬（山）威風堂々
色づきし寒梅友は自慢気に

平成29年4月から

介護予防・日常生活支援総合事業を始めますⅡ

前号（広報かねやま1月号）は、介護予防・日常生活支援総合事業の概要をお伝えしました。本号は、利用の流れについて説明します。介護予防・日常生活支援総合事業は、要介護認定で要支援認定を受けた方や基本チェックリスト（運動、栄養、口腔、認知機能のチェック）による確認を実施し、生活機能の低下がみられた方が利用できます。

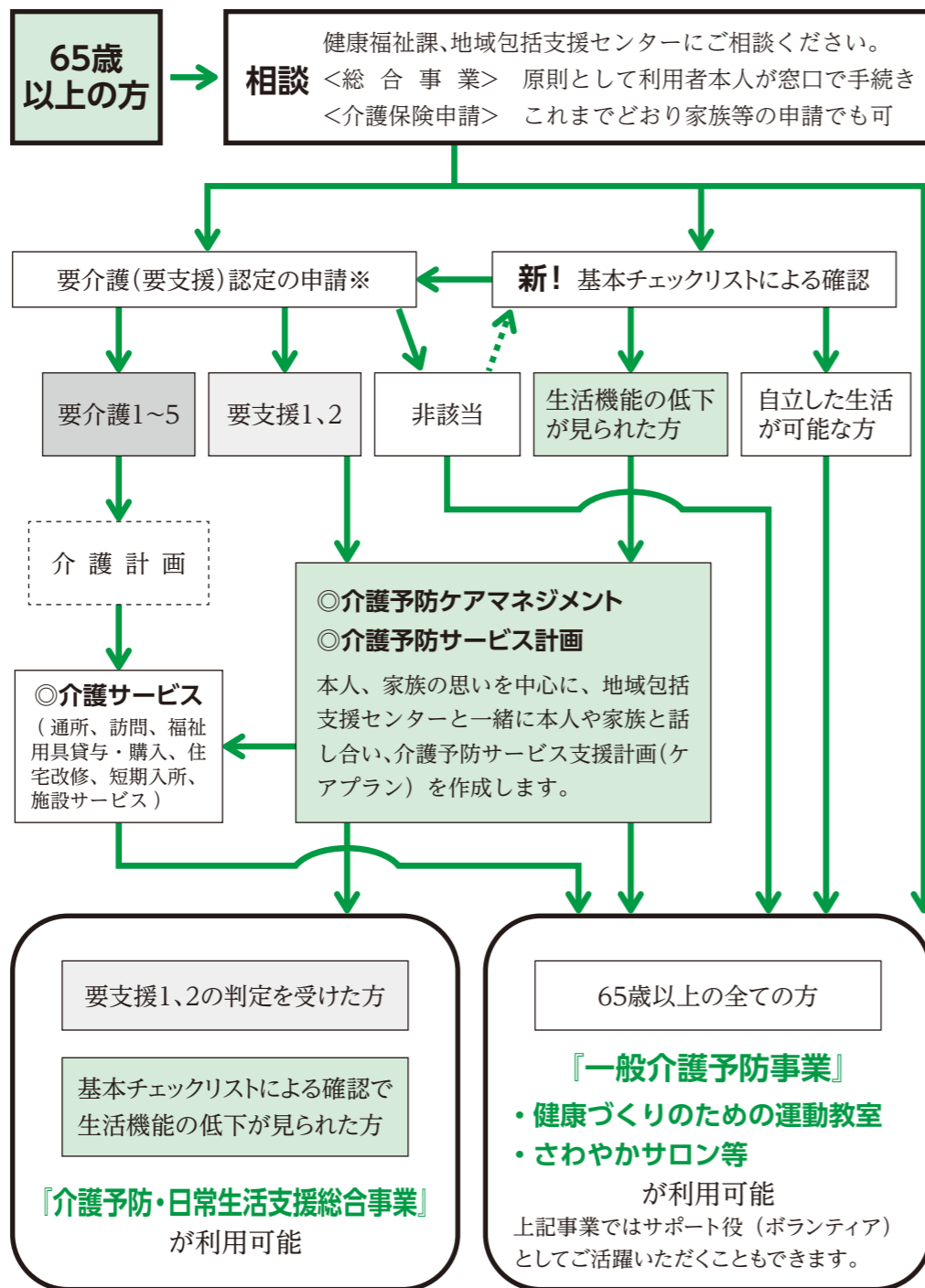
問 役場健康福祉課医療介護係 ☎52-2111（内線268）

前号の復習！ 総合事業の概要

高齢化社会が進むなかで、高齢者自身も要介護状態となることを自分で予防することが大切です。介護保険制度としては、介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）が創設されました。金山町では、平成29年4月から総合事業を実施します。

総合事業では、これまで要支援1、2の認定を受けていた方に提供していた予防給付（介護保険料からの給付）を町の事業（介護保険料以外の財源）に移行します。

介護予防訪問介護や介護予防通所介護のみを利用の方がサービスの利用を希望する場合には、健康福祉課窓口で基本チェックリスト（生活機能を確認する質問票）に回答することにより要支援認定を受けずにサービスを継続して利用できるようになります（介護保険の申請が不要となります）。



※これまで同様、認定調査・主治医の受診を経て認定審査会で審査されます。
(補足) 総合事業対象者になった後や、総合事業サービスを利用した後でも、状態に合わせて必要ときは要介護(要支援)認定を申請することができます。

2017 地域おこし協力隊が行く!

地域おこし協力隊は、栗田雅史隊員、菅谷光太郎隊員、柴田学隊員に加え、昨年10月から加入した柴田琢磨隊員を含めた4名です。毎月金山で体験した活動、新しい魅力・発見を紹介します!



さて、徳島県での研修の話の続きとなりますが、どうすれば我々のような移住者も受け入れる側の地域も「win-win」の形になれるのかという問題です。神山町では地域に必要なスキルを持った人材を呼び込むことで移住者の居場所を作ったこと、そして移住者の気持ちを理解できる元移住者の存在が大きかったと教わりました。

地域おこしのために移住してきた者として、町に残り、町に関わりながら、その役割を担えるよう精進していきます。

1月15日に開催された町の恒例行事「神室雪まつり」。昨年に引き続きステージイベントを担当しました。時間によっては大荒れの天気の中、声をかけてくださった方や手拍子や差し入れをくださった皆さま、本当にありがとうございました!楽しんでくださったのであれば幸いです。

これからも老若男女楽しめる企画を目標に続けていきます。また、見たい出演者や町に来てほしいアーティストなどがいましたら教えてください!よろしくお願いします。

■今月の菅谷隊員



■今月の柴田(学)隊員



■今月の栗田隊員



■今月の柴田(琢磨)隊員



12月17日、18日に山形大学のサークルチーム道草による、金山中学校3学年の生徒を対象にした、「冬の学習支援」が実施されました。私は準備等のお手伝いを担当。対象は高校受験を直前に控えた3年生。学生の皆さんは、準備した問題集に沿った指導だけでなく、生徒に合わせた問題を出題する等、細やかな指導を行っていました。

また、皆さんお互いに交流を楽しみながら学習に取り組んでおり、有意義な時間になったのではないかと思います。

今年初めの大きな活動ですが、1月15日に神室雪まつりのお手伝いをしてきました。私は色々なご縁もあり、ステージイベントの中でDJマロとして、DJイベントをさせていただきました。冬の寒さか緊張のせいか、本番中ずっと足が震えていたのは秘密です(笑)。

初めて体験する金山の冬。圧倒的な雪の多さに、毎日驚かされています。慣れない雪かきに全身筋肉痛です。この雪も観光に繋がってほしいと思う今日この頃です。



水資源保全地域の指定について

山形県では、豊かな水資源と森林を守るため、金山町内の森林（地域森林計画対象の民有林の区域）において、水資源保全地域の指定を検討しています。

■水資源保全地域とは

近年、水資源に影響を及ぼす恐れのある土地の売買や開発行為が全国的に問題となつています。そのことがきっかけとなり、山形県では平成25年3月に「水資源保全条例」を定め、条例に基づき、県内の民有林等の区域を「水資源保全地域」に指定しています。最上地域においては、最上町（最上小国川地区）と舟形町（最上小国川地区、堀内地区）が指定されています。

※水資源保全地域内で開発行為や土地取引等を行う場合に、県（最上総合支庁環境課）に事前届出を行う必要があります。ただし、農業・林業・漁業を営むために行う場合や自身が居住するための住宅を建築する場合、相続により土地を取得する場合などは、届出不要となります。

■山形県環境企画課企画調整担当
☎023-6301316

司法書士無料相談所

■開催日時
毎月第3木曜日（2月16日・3月16日・4月20日・5月18日）
■会場
東根市さくらんぼタクトフルセンター

■相談方法
面談による ※予約不要・相談料無料
■相談例
相続登記について、土地や家の名義変更について、借金の返済について等
■山形県司法書士会
☎023-62317054

非正規労働 なんでも労働相談ダイヤル

■相談電話
0120-1541052（フリーダイヤル）
■午前10時～午後7時まで
■相談期間
2月9日（木）～11日（土）の3日間
■相談内容
解雇、賃金カット、未払い賃金、労働時間、休暇、パワハラ、セクハラ、マタハラについて等
■連合山形（担当 柏木）
☎023-62510555

生活なんでも相談ダイヤル

■相談電話
0120-3916029（フリーダイヤル）
■午前10時～午後5時まで
■相談期間
2月23日（木）～25日（土）の3日間
■相談内容
生活に関することならなんでも（法律問題、多重債務問題、家庭問題など）
■主催
（一社）山形県労働者福祉協議会
■求職者の生活・就労相談会
■相談電話
0800-80007867（フリーダイヤル）
■午前10時～午後5時まで

■相談期間
2月23日（木）～25日（土）の3日間
■相談内容
求職者の生活資金、住まい、就職活動に関する悩み
■主催
山形県求職者総合支援センター

オールもがみ合同就職面接会

■対象者
最上地域で就職・転職希望の方
■日時
2月23日（木）午後1時30分～4時
■会場
ニューブランドホテル新庄 3階
■内容
企業と求職者の個別面談
※入退場・服装自由。事前申込不要
■最上地域雇用創造推進協議会
☎2316212

農業経営革新支援講座

■対象者
県内農業者、農業関係者
■日時
2月22日（水）午後1時～4時30分
■会場
山形県高度技術研究開発センター
■募集人数
150名（先着順）
■内容
講師による6次産業化に関する講演並びに質疑応答
■申込
2月17日（金）までに左記へご連絡を
■山形県立農林大学校研修部
☎2218794

平成29年度 金山町育英会奨学生を募集します！

下記の内容で平成29年度金山町育英会奨学生を募集します。

- 応募資格 金山町民で、学校教育法に規定する4年制大学、短期大学及び専門学校（修業年限2年以上）に在学又は進学を予定している方。
- 貸与額 ①4年制大学 40,000円／月（平成28年度貸与額）
②短大・専門学校等 30,000円／月（平成28年度貸与額）
- 申込方法 次の書類をそろえて金山町育英会事務局に提出してください。
①連帯保証人（保護者含）2名を付した『奨学生願書』 ※
②卒業（予定）高等学校長の証明する『奨学生推薦調書』 ※
③『履歴書』 ※
④大学等の合格通知書（または在学証明書）の写し
上記の※①②③の書類様式は金山町育英会事務局（中央公民館内）にあります。
- 募集期間 2月6日（月）～3月24日（金） 金山町育英会事務局（中央公民館内）必着
- 奨学生の決定 金山町育英会運営委員会において、書類審査と面接（親子）を経て決定します。金山町育英会運営委員会及び面接は3月下旬に開催する予定です。日程が決まり次第、申込者にお知らせいたします。審査にあたっては、成績優秀（高校の評点が原則3.5以上）であり、心身が健康で自分の意思や適切な判断力で行動できる自立心の高い方を総合的に判断します。

◎また、金山町では優秀な人材を確保するため、条件付きで奨学金の返還が全額免除される制度を平成26年度に創設しました。大学等（大学・大学院・短大・専修学校）を卒業された金山町育英会奨学生が、特に医師・看護師・介護福祉士免許を取得し、大学等卒業後1年以内に金山町に住み、新庄最上地域の医療機関や介護老人保健施設等に5年以上継続して就労することが、奨学金返還全額免除の条件となっています。

■金山町教育委員会 金山町育英会事務局（金山町中央公民館内） ☎52-2902

平成29年度小学校及び中学校新入生の保護者の皆様へ

入学祝金 を贈呈いたします！

- 交付対象者 平成29年度小学校・中学校入学予定の児童の保護者の方。
（対象者の方には2月中旬頃に役場から通知いたします）
※ただし、1月末現在において、金山町内に住所を有し、かつ、引き続き5年以上金山町に住む予定である方に限ります。町外に転出する予定がある方は事前にお申し出ください。
- 交付金額 ○第1子・2子…3万円相当（現金1万5千円、美杉ちゃん商品券1万5千円）
○第3子以降…5万円相当（現金2万5千円、美杉ちゃん商品券2万5千円）
- 交付時期 2月10日（金）～17日（金）を予定しております。詳細は後日ご案内します。
- 交付方法 役場健康福祉課子育て支援係窓口で直接交付いたします。

■役場健康福祉課子育て支援係 ☎52-2111（内線371）



金山町の人口は、**5,827人**
12月末現在

■男性 2,817人（-10）
■女性 3,010人（-7）
■世帯数 1,783世帯

▶12月の異動 ●出生／3人 ●死亡／7人
●転入／4人 ●転出／17人

編集 後記

▼皆さんは町内の産直を利用していますか？野菜は自家用栽培で十分だから…などの理由で、もしかしたら利用したことのない人も多いかもしれません。今月の特集は「かねやまの産直」。生産者それぞれの想いが詰まっています。時代にあわせて進化している金山の産直。一度足を運んでみてはいかがでしょうか？
▼2月4日は立春。暦の上では春ですが、金山の春はまだ遠そう。今月26日には、白銀少年スキー選手権大会が控えています。実は今年60回を迎える本大会。記念大会にふさわしい雪をも溶かす熱戦を期待します。（つぎ）



葉みがきは心みがき、心みがきは人間みがき

1月13日、「金山小歌会始」が開催され、5・6年生全員が作った作品の中から優秀作品に選ばれた10名が、工夫を凝らした自らの歌を詠みあげました。

皇太子殿下のご来校を記念し、新たな伝統をつくっていききたいとの思いから、昨年に引き続き2回目の開催となりました。今年のテーマは「野」。児童らしい元氣いっぱい、の歌が勢ぞろいしました。

審査した新庄龍山短歌会の山田さんは「優秀な作品が多く、選定には苦労した。昨年からの成長がみられて嬉しい」と児童たちに賛辞を贈っていました。「言葉を磨けば心も磨かれる」山田さんはこう続け、短歌づくりの素晴らしさを語ります。来年以降も歌会始が続き、『言葉磨き』を通して、子どもたちの成長の場となることを願います。

○5年生優秀作品

※敬称略

ねころぶと春の景色が目にかぶ野にさきはこる菜の花の星
北風はいつも不きげん冬の風シャワーのような木の葉の雨を
栗さんとかぼちゃプリンに焼きいもにママの料理はくせになる味
卒業式の思い出つまった教室の寄せ書き見ればなみだが一つ
夜空見て記念の一枚カメラ手にスーパームーンにねらいを定める

原田 奈歩
齋藤 椿
佐藤 滯
丹 志穂美
松田陽菜乃

○6年生優秀作品

※敬称略

野も山もうつすら白くそまりだし風の吐息は冬のおとずれ
金山は水よし山よしでもやはり町のじまんは元氣なすぎっ子
テーブルにしゅんの食材ならべられどれもおいしくいのちいたたく
くれないの紅葉したての落ち葉ふる心にぽつりさびしさの増す
母に向け「うるさい！」なんて言うけれど心の中は感謝の気持ち

長倉 花音
伊藤 竜守
小野 樹生
樋渡菜々子
小沼 咲桜